

# 佐賀大学における Office365導入 ～メールシステム移行～

佐賀大学  
総合情報基盤センター  
江藤博文  
etoh@cc.saga-u.ac.jp

2016/3/25  
大学等におけるクラウドサービス  
利用シンポジウム  
@広島大学

# 佐賀大学紹介

- 5 学部(2016年度から6学部)
  - 文化教育学部(2016年度から教育学部)、経済学部、医学部、理工学部、農学部(、芸術地域デザイン学部)
- 人数
  - 学生:約7,000人
  - 教職員数:約3,000人
- キャンパス
  - 本庄キャンパス、鍋島キャンパス(、有田キャンパス?)
    - その他:佐賀県内に複数の遠隔施設

# 移行目的

- メールシステムにかかる負荷が業務を圧迫
  - メールシステムの煩雑な管理
    - セキュリティ対策、停電対応、不具合対応
  - 利用者対応に追われる業務
    - 週に数件の容量超過対応
      - スプール容量不足(500M)
    - メール不達調査、メールソフト設定問合せ対応等
- メールシステム契約の更新時期
  - 利用料金の軽減

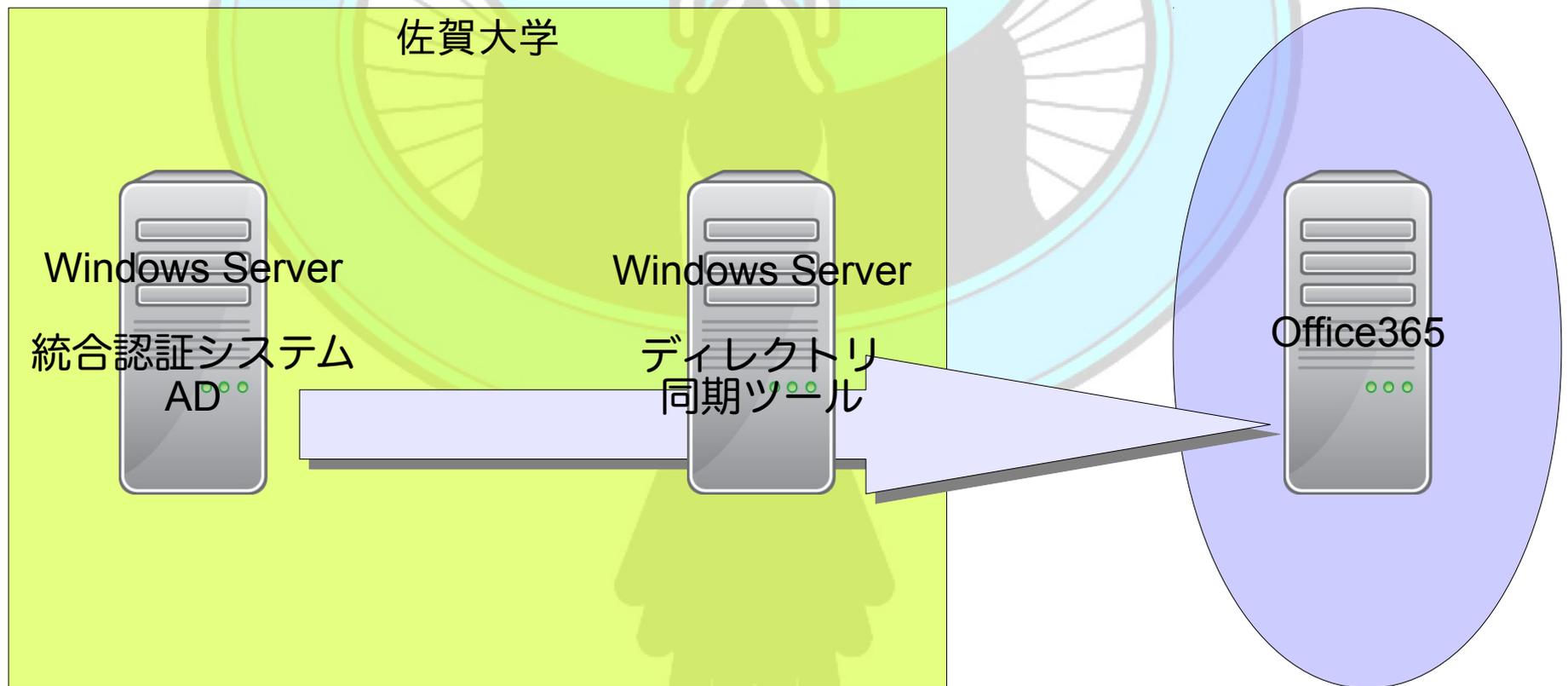


メールにかかる負荷の軽減

# Office365導入

- 包括ライセンス
  - 2014年9月に締結
- 認証方法
  - ディレクトリ同期
    - 統合認証システムADサーバ
- サービス
  - 2015年4月からメール以外のサービス開始
    - Office365ProPlus
  - メールシステムの移行
    - 2015年9月に研究用メールシステムを移行
    - 2016年3月に教育用メールシステムを移行

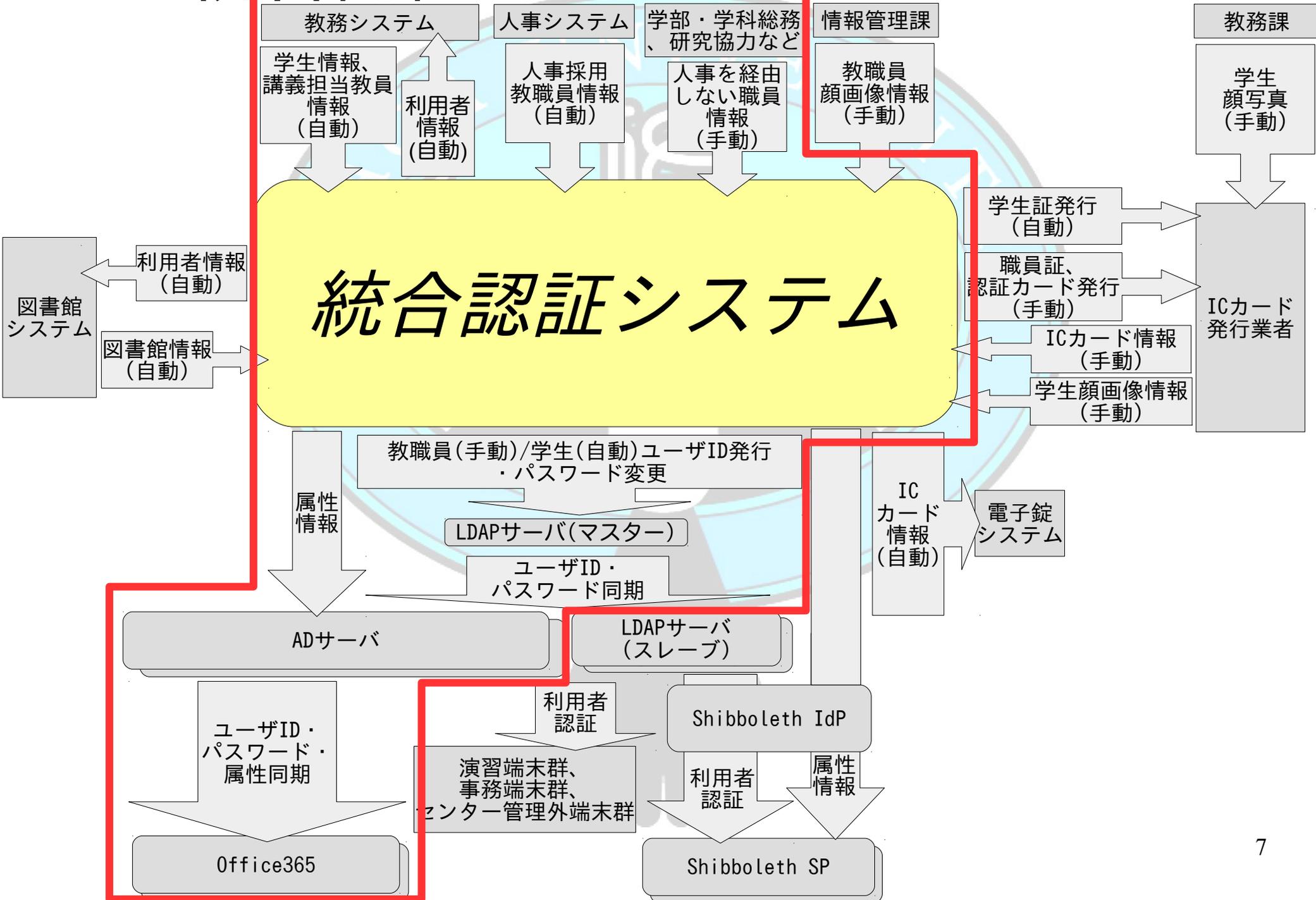
# Office365ディレクトリ同期



# 統合認証システムと Office365連携

- 統合認証システムとAD連携
  - マスターLDAP
    - ユーザID
    - パスワード
  - 属性情報(名前等)
    - 統合認証システム
- ADとディレクトリ同期による連携
  - ユーザID
  - パスワード
  - 名前
    - 学生は非同期

# 統合認証システムデータフロー



# Office365構成

- 既存のメールサーバ相当
  - 研究用、教育用の2つのテナント
  - 2つのADからディレクトリ同期
  - ADの構成上、全員のユーザIDが同期
- ポリシー
  - 研究用
    - 教職員のみライセンス付与
  - 教育用
    - 学生・教職員にライセンス付与

# メールシステム構成 (移行前)

- 研究用メール
  - 設置場所
    - データセンター
  - サービス形態
    - 人数による課金
    - 業者によるサーバ管理
    - サービスを利用
- 教育用メール
  - 設置場所
    - 総合情報基盤センター
  - サービス形態
    - 自前サーバによるサービス
      - サーバ管理は自前

# メールポリシー (移行前)

- 研究用メール
  - 利用目的
    - 業務・研究利用
  - 対象者
    - 人事採用教職員
      - 非常勤講師を除く
  - 利用方法
    - メールソフト
      - Thunderbird(推奨)
        - IMAP
    - Webmailer(独自)
- 教育用メール
  - 利用目的
    - 教育・研究利用
  - 対象者
    - 全学生
    - 人事を経由しない職員
    - 非常勤講師
    - 教職員
  - 利用方法
    - Webmailer(独自)推奨
    - 推奨メールソフト
      - Thunderbird

# メールシステム構成 (Office365移行後)

- 研究用メール
  - 設置場所
    - クラウド
      - テナントを作成
  - サービス形態
    - 無料
    - 業者によるサーバ管理
    - サービスを利用
- 教育用メール
  - 設置場所
    - クラウド
      - テナントを作成
  - サービス形態
    - 無料
    - 業者によるサーバ管理
    - サービスを利用

# メールポリシー (Office365移行後)

## • 研究用メール

- 利用目的
  - 業務・研究利用
- 対象者
  - 学生以外の全員
- 利用方法
  - Outlook on the Web 推奨
    - 特別な理由がある場合はメールソフト

## • 教育用メール

- 利用目的
  - 教育・研究利用
- 対象者
  - 全学生
  - 希望する教職員
- 利用方法
  - Outlook on the Web 推奨
  - Microsoft Outlook(スマホアプリ)
    - 携帯への転送を抑止

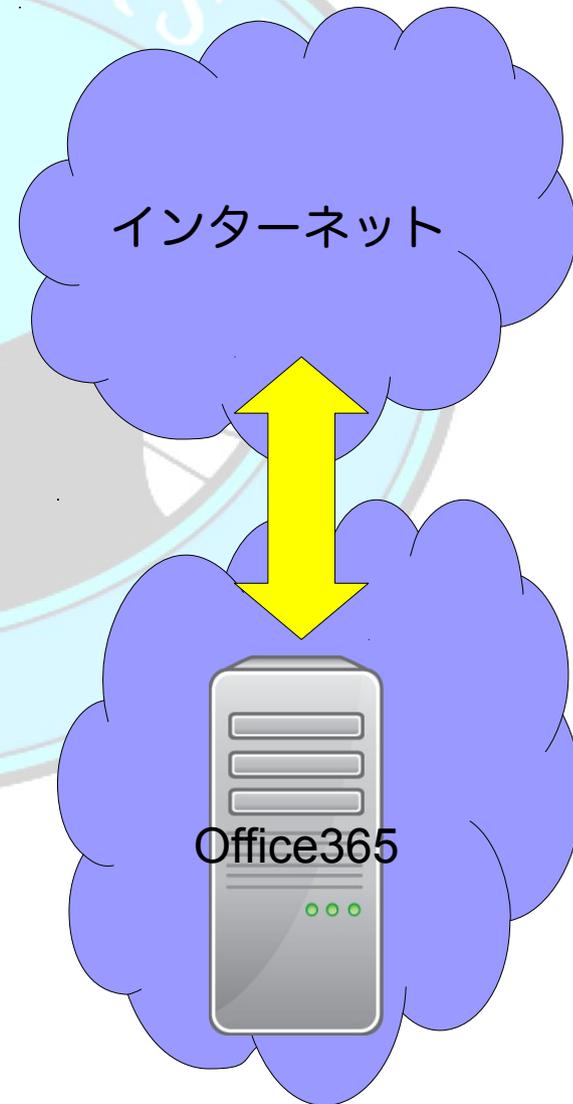
# 配送経路

- 研究用メールシステム
  - 退職者転送サービス
    - 400件以上



# 配送経路

- 教育用メールシステム
  - 退職者転送サービス
    - 22件
    - Office365に設定



# メール移行ポリシー

## • 教職員

- 業者による移行作業
  - 管理者権限
  - 24時間ごとの差分同期
  - 配送先切り替え前後1週間
- 転送設定、アドレス帳は個人で移行
  - 説明会で方法を説明
  - ホームページにも記載

## • 学生

- 自分で移行作業
  - メールオプションの「接続されているアカウント」
  - 演習端末前に移行手順を掲載
  - ホームページにも記載

# 研究用メールシステム移行

- 移行時期
  - 平成27年9月中旬
- 説明会開催
  - 移行前に開催
- メール移行
  - 業者による移行作業:約3,000人
  - 配送先切り替え前後1週間程度
- 旧メールシステムの停止
  - 配送先切り替え1週間後

# 教育用メールシステム移行

- 移行時期
  - 平成28年2月末～3月初め
- 説明会開催
  - 学生:後期試験前
  - 教職員:移行前、業者による移行中
- メール移行
  - 教職員の業者による移行作業:約300人
  - 学生による移行作業:約7,000人
- 旧メールシステムの停止(予定)
  - 平成28年8月初め

# 移行後の問い合わせ対応

- メールソフト関連
  - フォルダが表示されない
    - 購読リストから作成したフォルダが外れている  
→必要なフォルダを購読リストに追加(チェック)
  - 受信トレイのサブフォルダが無い
    - 受信トレイのサブフォルダは、受信トレイにマージされる
  - システムにより、メールフォルダの名前が異なる
    - 送信トレイ、送信済みトレイ→送信済みアイテム
    - Trash→削除済みアイテム
    - 低優先メール

# 移行後の問い合わせ対応

- メールソフト関連
  - メールが送れない
    - 旧メールシステムは学内からパスワード無しで送信可能  
→認証付きで送信
  - ローカルフォルダが移行されていない
    - 移行対象はサーバにあるメールのみ
- メールをエクスポート・インポートしたい
  - メールソフトを使用
    - Outlook on the Webに機能が無い

# 移行後の問い合わせ対応

- Outlook on the Webのレイアウト
  - メールソフトとレイアウトが異なる
- 閲覧ウィンドウ変更

## ⊖ オプション

ショートカット

▶ 全般

▶ メール

▶ 自動処理

自動応答

低優先メール

受信トレイ一括処理ル

迷惑メールの報告

開封済みにする

メッセージ オプション

開封確認メッセージ

返信設定

アイテム保持ポリシー

▶ アカウント

許可/拒否

接続されているアカウント

転送

POP と IMAP

▶ 添付ファイル オプション

添付ファイルの設定

▶ レイアウト

スレッド

メールの署名

メッセージ形式

メッセージ一覧

閲覧ウィンドウ

リンクのプレビュー

▶ 予定表

▶ 連絡先

その他

## 閲覧ウィンドウ

閲覧ウィンドウを表示する場所を選びます。

- 閲覧ウィンドウを右に表示する
- 閲覧ウィンドウを下に表示する
- 閲覧ウィンドウを表示しない



## 閲覧ウィンドウ

閲覧ウィンドウを表示する場所を選びます。

- 閲覧ウィンドウを右に表示する
- 閲覧ウィンドウを下に表示する
- 閲覧ウィンドウを表示しない



# 移行後の問い合わせ対応

- サインインできない
  - パスワードを覚えていない
    - ブラウザ、メールソフトにパスワードを覚えさせていた
  - AD同期ができていない
    - 長年パスワードを変更してない
- 転送設定を行ったら、サーバにメールが残らない
  - 「転送されたメッセージのコピーを保持する」にチェックが入っていない

## 転送

転送を開始する

メールの転送先:

メール アドレスを入力してください

転送されたメッセージのコピーを保持する

# 現状の問題点

- 複雑な配送経路(研究用メールシステム)
  - 退職者向け転送サーバの存在
    - 当初は Exchange メールフロー ルールに記載予定
      - ルールは最大100(移行時点で400以上の転送)
    - 転送用別サーバを用意
      - サービス当初は配送経路のルールで混乱
  - 対応
    - 既存の転送は1年のみ
      - 1年後には転送サーバを廃止
    - 新規も1年のみ
      - 1~2名/月

# 現状の問題点

- Fromが書き換えられない
  - 海外とのやりとりで名前をローマ字にしたい
    - AD同期のため、個人では変更できない
  - メールソフトを使用
- Fromを別のメールアドレス(ML等)にしたい
  - 技術的には管理者権限で実現可能
    - 管理者の負荷が増大するため、サービスは厳しい
  - Office365 の SMTPサーバは不可
- メールソフトを使用+SMTPサーバを変更
  - センターでSMTPサーバを用意

# Office365移行後

- セキュリティ対応、停電対応、システム不具合対応
  - おまかせ
- 料金
  - 無料
- 容量超過の解消
  - 50G/人
- メール不達調査
  - ある程度の調査は可能
  - 細かい調査は仕様で断る

# 今後の課題

- 新年度への対応
  - 新入生の短時間の大量利用
- ライセンス付与の自動化
  - 現在は手動
- Outlook on the Web利用への誘導
  - 教職員の半数以上はメールソフト使用
- 在校生への利用促進
  - 現在までの利用者は半分程度



ご清聴ありがとうございました